

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 山梨ブロック協議会

第46回 山梨ブロック大会開催趣意書

昨今の少子高齢化や都市部への人口流出などにより、地方には人口が減少している地域が多くあり、私たちの住み暮らす山梨県も同様の状況です。行政では人口問題を抱える中、それぞれの地域の特徴を活かした自律的で継続的な社会を創生できるように「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を打ち出し、地方創生に取り組んでいますが、地域との連携強化によって更に可能性が広がると考えます。現在は世の中の変化が速いため、それを乗り越えていくには時代を切り拓いていく力が必要です。地域を想い、行動する人材が増えることで地域の活力が高まると考えます。

私たち青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を目指して全国696の地域で活動する20歳から40歳までの青年経済人で構成され、山梨県内では11の青年会議所が地域課題に対して取り組んでおります。本年度山梨ブロック協議会では「和の精神と一期一会の覚悟を持った人材で溢れる誰もが夢を描ける山梨の実現」を基本理念に運動展開しております。

本大会の開催地である都留市は、都心より約90kmの山梨県東部地域に位置しており豊かな自然が溢れています。また、昨年オープンした「道の駅つる」は国土交通省の重点道の駅に認定され、全国先進7か所の自治体として選ばれた「生涯活躍のまちCCRC (Continuing Care Retirement Community) 事業」や、2027年に開業を予定している「リニアモーターカー」の実験線拠点基地が存在し、全国から注目を集めている地域です。また、公立大学法人都留文科大学、山梨県立産業技術短期大学校、健康科学大学看護学部の3つの高等教育機関があり、人口3万人規模の市で学生が3千人以上おり、若者が多いことは全国的に見ても大きな特徴です。

地域のなかでは、行政や団体、企業、学校など多様な方々がそれぞれの専門性を持ち、活動されて地域の活力となっていっています。また、私たち青年会議所も地域を想い、まちづくりを行うことで、地域の活力につなげている団体の一つです。共通の意識を持った多様な主体が地域のために連携を図り、同じ方向を向くことにより、更なる地域発展へとつながると思います。さらに、都留の特徴である学生の柔軟な発想力が加わることで、新たな可能性が生まれると思います。それぞれの立場を超えて、ともにまちづくりに取り組むことが、未来の活力ある地域につながり新たな可能性を引き出す運動となり、より誰もが夢を描ける地域になっていくことを目指し、本大会を開催します。

第46回 山梨ブロック大会
概要書（案）

【大会テーマ】

地域の可能性 ～ともに輝き、夢を描ける山梨へ～

【開催日】 2017年9月10日（日）

【会場】 都留地域

【コンセプト】

1. 参加者に立場を超えた意識変革の機会を創出します。
2. 若者と地域関係者の相互理解と交流の機会を創出します。

主催 公益社団法人日本青年会議所 関東地区 山梨ブロック協議会

主管 一般社団法人都留青年会議所